

市議会だより

6月定例会 一般質問

- 13人の議員が市政について質問しました。
- 主な内容については次のとおりです。

高野 邦良 議員

市民の安心と安全を 確立する施策について

問 合併関連予算が16億4千万円計上されました。お金には代えられない大切な夢を実現することですが、それはなんですか。

答 私と幡豆郡3町長の思いは、この地域に暮らすすべての人々が、ふるさとに誇りを持ち、安全で安心な生活を送り、幸せを実感できる地域をつくることでもあります。

問 人の命はお金には代えられない大切なものです。合併すれば、医療体制はより強化されますか。

答 合併後は、西尾市民病院を地域の医療体制を支える基幹病院として、そ

の役割を十分発揮できるように、病院機能の充実を図るとともに、地域内の民間病院との連携をさらに強化していきます。また、新市の医療ガイドマップなど、市民の皆さんに行政情報全般を発信する必要があると考えています。

問 合併すれば、防災体制もより強化されますか。

答 組織の見直しを検討し、技術の向上や機材の充実を図り、総合的に防災力を強化していきます。

問 人の命を支える生活基盤は、特に大切です。合併すれば、雇用体制は、より強化されますか。

答 企業誘致を推進し、地域の活力づくりに取り組みます。地域産品の発掘や新たな特産品開発を支援し、雇用の創出を図ります。

来年度から導入される 小学校英語活動について

問 私は、日本航空のパイロット試験に挑戦し、当時の松尾静磨社長から、面接を受けました。社長のワン・フレーズ、「英語は世界へ羽ばたく翼である。」これをベースにした小学校英語の動機づけ、「英語を学べば世界へつながる、友達が増える、日本語が豊かになる。」これを指導方針の参考にしたいだけですか。

答 今後、参考にさせていただきます。



花ノ木小学校での英語授業

問 理想の英語授業形態があります。それは、英語を母国語とする品格ある外国人講師と、子どもを知り尽くした

学級担任とのコラボ授業です。ぜひ実現していただけますか。

答 研修や研究を通して、理想的な教師に近づくように努力していきます。

中村 眞一 議員

生涯教育の場の設置及び 一市三町の合併について

問 矢田ふれあいセンターの早期建設は、校区20年来の要望です。それをどのように思いますか。また、地域活性化臨時交付金で矢田ふれあいセンターと室場こども園の設置を考えませんか。

答 矢田ふれあいセンター建設は、用地確保ができており、地域住民の要望も考慮し調整を図ります。

臨時交付金の交付は未定ですが、他の交付金があれば優先します。

問 合併協議会は合併ありきで協議するものではないと思いますが如何ですか。また、協議会の中で住民投票についての議論も必要と思いませんか。

答 協議会は基本事項について協議することであり、目指すは一市三町の合併ですが、協議が難航することにより、合併の是非の議論も想定されます。協議会の中で住民投票についての議論が必要とは認識していません。

問 住民投票の署名が2万人強、集ま

りましたが、この意義をどのように考えますか。また、地区説明会が終了した後にはアンケート調査をしませんか。

答 署名は真摯に受け止めております。説明会では必要性や将来像について、ご理解をいただきますので、再度のアンケート調査は実施しません。

問 合併の事務すり合わせに対し、職員が悲痛な思いで頑張っていることは承知していますか。

答 承知しています。心からその労をねぎらいたいと思っています。

問 合併後に共有名義の納付書が複数発送されることになりませんか。

答 税の賦課期日は1月1日です。1月2日以降に合併した場合、23年度の納税通知書等、それぞれ最大4枚を新市長名で送付することになり24年度より一本化することとなります。

問 今活動している町職員を消防団員として登録させる考えですか。また兼務の場合、費用弁償の扱いと消防団活動か避難所の対応のどちらを優先させますか。

答 新市の消防団条例を設置し、3町の3団9分団体制とする予定です。資格要件を満たせば団員になります。費用弁償の支払いはできませんが、支払いのないケースもあり調査研究します。大規模災害時には災害対策本部の業務が優先と考えます。

安心・安全なまちづくりについて

問 「六万石くるりんバス」を、碧南の「くるくるバス」と接続させませんか。

答 総合的な交通施策を考える中で、隣接市の意向を聞き、研究します。

大竹 忍 議員

療育・保育・教育環境改善について

問 学校のトイレの現状を調査して、改善、改良を図りませんか。

答 トイレの老朽化や広さなどについて、6月中に現状調査を実施します。改善を要する学校から改修します。

問 国の体育館面積基準の72%しかない、東部中学校体育館の建替えを計画しませんか。

答 国の基準による改築ができるように、引き続き努力していきます。

問 教育環境の改善を図るための「学校建設及び教育環境改善基金」を創設しませんか。

答 設備の更新や内外装の改修、校舎の改築には、巨額の費用が必要です。関係部局と協議して、基金創設に努

力していきます。

問 保育園の園舎の老朽化は学校よりひどく、建替えを計画的に実施しませんか。また、(仮称)室場こども園の建設計画はどのようですか。

答 財政状況を見ながら、園舎建替えを計画的に行うよう努めます。室場こども園は、早急に工事に着手できるように、努力していきます。

問 療育から小、中、高一貫した教育ができる養護学校の建設を考えていきませんか。

答 養護学校の必要性については十分理解しています。県との調整が必要であります。また、適切な場所など建設計画を今後検討していきます。

「デートDV」対策について

問 中学生のデートDV被害の実態調査と、防止教育を実施しませんか。

答 現在行っている調査で把握します。また、中学校では「携帯電話に潜む危険」を重点とするなど、教育活動全体を通して人権教育に取り組んでいきます。

問 デートDVに対する相談窓口の設置や、被害者に接するあり方などの、研修会、講習会を開催しませんか。

答 教員、養護教諭の他、現在設置し

ている生徒指導アドバイザー、心の教室相談員、スクールカウンセラーなどで対応していきます。

高齢者を交通事故から守る対策について

問 補助電動付き自転車の「安全な乗り方」の講習会を開催しませんか。

答 警察署と連携し、検討します。

問 「運転免許証を自主返納した70歳以上の人に対し、住民基本台帳カードを無料交付しませんか。

答 無料交付できるように検討していきます。

鈴木 亨 議員

合併による新市基本計画の構想について

問 究極のエコとも言われる原子力発電所の誘致を、今後の計画策定に折込む考えはありませんか。

答 原子力発電所の建設には、強固な地盤や冷却に大量の海水が必要、更には漁業関係者、地元住民などの理解が欠かれません。誘致候補地として14号地、南奥田新田一帯では地盤が弱く、また、三河湾一帯は自然の保護区域に指定され、開発は難しい状態です。

問 太陽光発電所を誘致し、エコタウンを推進しませんか。

答 太陽光発電所には、広大な敷地が必要なこと、ソーラーパネル等に多額な費用が掛かり、採算性が低いといわれていますが、新市の誕生後、中部電力など関係機関と連絡を取りながら、誘致のための研究をします。

問 旧名鉄三河線駅舎、鉄道敷き跡地の有効利用策をどのように考え、今後の協議に提案していきますか。

答 平成18年8月に一部を公園利用するなどの方針を決定しましたが、調整がつかず、現在に至っています。新市基本計画には、エコ関連などの利用形態を調査、研究し、跡地利用の活用について検討をします。



旧名鉄三河楠駅

問 「愛知こども国」の一部をオートキャンプ場に改修し、集客能力の向上とイメージアップを図りませんか。

答 提案内容をこども国に伝え、今後、様々な利用形態を提言します。

学校教育施設の充実にについて

問 合併前に、小中学校の施設の改修や新設の要望をどのように把握し、解消されますか。また、本年度の教育関連予算の総額はどのようですか。

答 小中学校20校から179項目、総額2億5千300万円強の要望があり、緊急性や危険性の高いものから改修、改善を行います。トイレの改修は、子どもや保護者からも要望が多く、最優先で改修したいと考えています。また、22年度の学校施設整備事業のうち総工事費は、6千594万4千円です。

問 市内20校の厨房設備の老朽度と近年に全面改修を要する学校数は、どのようですか。

答 平成19年度に改築した西尾中学校を除き、建設後20年以上を経過し、厨房機器の老朽度は高いと考えます。特に、建設後30年を経過した8校は全面改修が必要です。

西尾中学校では、費用は撤去費を除き1億3千900万円かかりました。

問 将来に備え、教育施設関連基金の創設をしませんか。

答 基金の創設は、努力していきます。

田中 弘 議員

西尾市民病院改革について

問 病院の改修計画はどのようですか。

答 人工透析を行う血液浄化センターの新設や患者様のニーズに沿うよう病棟など改修を考えています。

問 要望の多い個室を増やすと、病室減になりますが増設は考えませんか。

答 個室の増室は、診療科ごとの入院患者数の状況や病床稼働率など病棟編成のなかで考えています。

問 ジェネリック薬品の積極的導入で、薬効等の心配はないのですか。

答 当院では薬事委員会を開催し、先発医薬品と適応症が同じで、安定供給できるなどの条件を満たすことを確認して、採用の可否を決定しています。

ごみ減量の取り組みについて

問 集団回収の取組みはどのようですか。

答 平成21年度の集団回収の登録団体は、子ども会やPTA、町内会など124団体、回収量は3千204トン、支払報奨金は1千602万円です。

問 子どもに対するゴミ減量の取組みはどのようですか。

答 平成19年度から分別スクール「レスキュー530」という、ごみ減量の教室を4年生児童対象に3年間で35校開催、子どものごみ減量への関心が高まり各家庭での分別がされました。

親子で親しめる公園（八ツ面山公園）について

問 八ツ面山公園の整備計画はどのようですか。

答 故郷の森ゾーンと位置付け、個人的な大型遊具の導入や既存樹林を有効活用し、豊かな自然環境の中で、親子の触れ合い空間を創出していきます。

問 八ツ面山公園を四季ごとに楽しめる計画はどのようですか。

答 古くから人々に愛された、ふるさとの山を後世に残すため、桜を活かし、もみじ等の植栽によって花、紅葉など「四季の森」として、整備を図っていきます。

問 小学校でヒメタイコウチの研究を進めませんか。

答 県指定の天然記念物ヒメタイコウチは、八ツ面小学校4年生が、総合学習で取り上げ、生態調査や生息地の保全活動等に取り組んでいます。

問 市内の全小学校3〜4年生に八ツ

面山公園とクリーンセンターを廻る社会科見学コースを設けませんか。

◎ 校外学習として、西尾幡豆クリーンセンターに6校、八ツ面山公園及び八ツ面配水場に1校、矢作川浄化センターに5校で見学を予定しています。市内の自然や公共施設等を有効に活用します。

鈴木 規子 議員

合併協議の状況について

問 合併協議では、ほとんどが「合併までに協議する」「合併後に調整検討する」となっていますが、誰がどのように決定するのですか。

答 最終的には、市長が決定します。

問 現在、市民1人当たりの借金21万5千円が合併後は26万5千円と、5万円も増えるといいますが、何年後に返せるのですか。

答 今、明らかに申し上げられません。

問 合併によって、職員の退職が一律に増え、財政を圧迫しませんか。

答 今後10年間で500人。126億円ですが、勸奨退職は含んでいません。

問 勸奨退職が算定されないのでは、正確な財政計画は立てられないのでは

ありませんか。

問 わかりませんが、平均34人位かと思えます。

問 一色町長と県の退職手当組合との間で争いがあり、未納となっている700万円は、結局、西尾市民が支払うことになるのではありませんか。

◎ 未払い負担金が発生すれば、西尾市が引き継ぐこととなります。

問 3町消防団について、市長は調査・検証もせず、そのまま受け入れると言っていました。年間1億円以上もの経費のまま引き継ぐのでは、合併による行財政改革効果につなげられません。これでは、市民の利益に反しませんか。

◎ 市民に不利益は与えません。

問 西尾では、市民消防隊も水警防団もボランティアです。消防団もボランティアでやっていたらどうか、市長は3町にお願いされたのでしょうか。

◎ このまま当初やっていくと合併協議会で確認されました。

問 昨年9月に行ったアンケートは、市長は、その後、全部読みましたか。

◎ 読んでいません。

問 合併協議会に寄せられた住民からの意見は読んでいますか。120余のうち、住民投票を求める意見が45もあります。どうですか。

◎ 合併協議に、意見の違いがないのですから、住民投票は必要ありません。

問 若い世代も女性も、全ての有権者が合併について、意思表示できる住民投票を行うことを考えませんか。

◎ 住民の声を聞くということは、耳ざわりのいい言葉です。しかし、今の住民の方が、合併について本当の情報をお持ちか、非常に心配です。

問 住民投票もせず、強引に合併すると、住民の間にしこりを残しませんか。強引に進めていると思いませんか。



住民説明会(文化会館)

筒井 登 議員

トロボネ合併の将来を憂いて最低限、公開討論会と住民投票を

問 市民に、よりご理解を頂くために、文化会館などで、合併賛成とする議員と市長VS合併反対とする議員との間で公開討論会を開催しませんか。

◎ 公開討論会は考えていません。

1万9千人の署名が集まりました。住民投票の実施に、「ご理解を

問 市長は盛んに「合併は順調に進んでいて、問題点は何もない」と発言していますが、私の頭の中では問題点がいっぱいです。この合併が順調かどうか、急ぎすぎかどうか、説明不足であるのかどうかは、住民投票で市民の意思を確認すべきではありませんか。

◎ 首長間で大きな相違はありませんので住民投票の必要はありません。

問 昨年6月議会で市長与党の稲垣昌利議員、安藤好実議員は市民の意向を確認することが最優先である。住民投票の条例作りは間に合っはずだ、と言っています。それでも住民投票をしないのですか。

◎ 住民投票をやる必要はないと初めから言っています。

市長は、「この議会の一般質問で合併問題を問われましたか

問 市長は「過去20年7回の選挙で、市町合併を常に私の公約の第1でやってきた。30年来の夢だ」と言っている割には足跡が見えません。市長は10年以上の県議会議員時代に、どのような活動をしてきたのですか。

◎ 私は合併に関し随分と一般質問をしてみました。

問 愛知県議会の会議録では市長は11年の間に合併に関しては一度も一般質問をしていません。ある事、ない事を言われても私の立場がありませんし、市長の名誉、信用に関わる問題でもありません。どこの議会で合併問題を問われたのですか。

◎ どの議会の一般質問ですかと言われても、全ての一般質問を覚えているわけではありませんし、人間ですから忘れたということもあります。

問 議員は西尾市民の利益代表です。3町に譲歩し、西尾市民の負担が重くなることは避けたいと考えている中で、年1億3千万円もの予算を使っても、3町の消防団を存続する必要性が理解できません。今まで西尾市になくても済んできた組織がどうして必要ですか。

◎ 筒井議員が、西尾市の議員だから西尾市民の利益を最優先するという発言は何度も聞いていますが、消防団の存続については、新市になってから検討するという確認ができています。

稲垣 昌利 議員

中心市街地の街並み整備及び賑わい創出について

問 中央通りの緑化整備に街路樹の計画がありますが、市民に親しまれる並木道をどのようにされますか。

◎ 地域の方々が企画立案された意見を最大限尊重し、落ち着きのある街並みをイメージし、ヤマボウシなどの樹種を選定し、22年度末に完了する予定です。

問 まちなかの旧家や空き店舗を活用し、若者の起業を支援するようなインキュベーションルームやチャレンジヨップを設置しませんか。

◎ 商工会議所と連携を密にして、空き店舗活用事業費補助制度を活用したインキュベーションルーム等の設置を検討することにも、融資や経営の相談などにも当たっていきます。

西尾市・幡豆郡3町合併について

問 新市のまちづくりに関してハード的・ソフト的な要素を組立て、立案、実行、そして検証見直しまで一貫して動けるような部署を新設しませんか。

◎ 合併後には「まちづくり・まちおこし」のプロジェクトチームを新たに結成し、議員が提案していることができるよう前向きに検討しています。

問 映画に登場したり、「日本の里100選」に選出されるなど、注目を集めている佐久島を新市の観光の一つとし

て活かし、電車からのアクセスも良くするために吉良町の渡船場を復活しませんか。

◎ 新市の目玉となる観光資源と位置付けており、これまで以上に魅力を全国に発信していくべきと考えています。名鉄西尾・蒲郡線の利用促進と維持を図るためにも、吉良渡船場の復活は、関係方面と協議・検討します。

問 市内では優良農地を潰さなければ、大規模な企業誘致ができません。新市の土地利用計画はどのようですか。

◎ 市町の都市計画マスタープランや、新市基本計画で位置付けられている産業ゾーンの中の幹線道路沿道や土石採取跡地等において、大規模な企業誘致を積極的に進めます。

問 平成23年3月末の合併を目標としていることに対し「早すぎるのでは」などの声が一部聞かれますが、そこを期限とし目指す理由はなんですか。

◎ 行財政改革の視点から職員削減を最も効果的に行えるのは、退職者が多く生じる今のこの時期において他にないと考えます。まちづくりの視点からは、合併により一市三町の地域資源を融合し活用することによって、この地域の活性化を図り、また道路や公共施設の建設整備を広域的視点で効率よく行って行くことについては、むしろ遅れてしまったとさえ感じています。

安藤 好実 議員

名鉄電車の利用促進について

問 名鉄福地駅では通勤・通学の利用者は駐輪場に入りきれずに雨ざらしの状態になっていますが、駐輪場の整備は検討していますか。

◎ また、県道から名鉄福地駅までの道路舗装は、いつごろしますか。

◎ 駐輪場の整備については、名鉄用地を使用できるように名鉄と協議を進め、用地のめどがいたら、早い時期に検討します。また、応急的な舗装はしていますが、全面舗装は検討します。



名鉄福地駅 自転車駐輪場周辺

問 名鉄福地駅の駐輪場の工事費用はどれほどの予算が必要ですか。

◎ 概算では、1000台程度の規模で6百万円の工事費と見込んでいます。

問 名鉄西尾駅吉良吉田駅間の設備投資を除いた正味の赤字幅は、どの程度ですか。また、名鉄側は、どの程度の財政支援を求めると予想していますか。

答 西尾駅から蒲郡駅間の赤字額は、約8億7千4百万円ですが、駅舎改修やSFカード導入費を除いた赤字額は約8億円で、西尾駅から吉良吉田駅間の赤字額は半額程度と聞いています。また、財政支援の額は、名鉄広見線の場合は半分程度を地元が財政支援をしているようです。

市長公約について

問 パーセント条例の実施時期はいつごろ予定していますか。また、NPOなどに融資や利子補給制度を活用し支援して行く考えはありませんか。

答 パーセント条例は、平成24年度に事業実施を目指しています。また、利子補給については融資制度と同様、NPO法人等に調査を行った上、要望により実施を検討します。

教育行政について

問 茶葉は中国から安価で輸入されたため、比較的安定して生産していた確茶に生産をシフトする農家が増え、全国的に価格が下がってきたと聞いていますが、歴史のある茶生産農家から相

談がきていますか。また、茶どころとして、学校の施設整備のおりには、茶の木を取り入れていきませんか。

答 ペットボトル用茶葉の増加により、手摘みから機械摘みに変わってきており、手摘み茶を受け入れる農家も減少しています。農家からは学校茶摘みを継続するための支援策について相談を受けています。また、茶の木による緑化については検討します。

広中 利臣 議員

住育と市民幸福度指標の作成等について

問 子育て世帯と三世代同居できる住宅支援策をまとめて三世代同居分譲地を造成したり、中心市街地に移住(定住)促進と環境や地域社会に配慮した木材(フェアウッド)を使う等して古民家等の住宅のエコ改修に助成する制度と、空き家・空き地バンク制度を創設したり、住まいに関する相談会等の官民合同フェアを開催しませんか。

また、学校に専門家を派遣して隠れ家等安心空間創出や、住育によるレイアウト等アドバイザー体制を整えるマニュアルと、幸福度調査をして幸福度を考えるシンポジウムを開催する等幸福度指標を作成しませんか。

答 移住促進と空き家・空き地バンク

制度と、住育等のマニュアル作成と相談会等の官民合同フェアの開催は検討します。

幸福度指標作成は研究しますが、あとは考えていません。

問 子どもの貧困解決元年の記念シンポジウムの開催や、貧困率の対策チームを結成して削減計画を策定したり、自立援助のフリースクールを設置したり、相対的貧困層への支援策をまとめて、生活苦と健康格差を解消する相談会を開催しませんか。

また、育メンのための育児無料クーポン券を配布し、男性職員の育児休業取得率の目標設定をしませんか。

答 無料クーポン券は県と協働し、支援策や相談会はさらに進めて、フリースクールは検討します。あとは考えていません。

問 弓道等の武道場や土俵等と用具の整備を進め、ダンスと武道必修化に向けてインストラクター養成講座開設とボランティアと連携をとりませんか。

また、トレーディングゲーム等の国際教育の研究と興味を持つ中で教科を学ぶ遊学等のマニュアルを作成し、航空宇宙関連企業と連携する等航空宇宙教育の研究を進め、星空案内人の資格認定講座を開設して、宇宙飛行士育成を語るシンポジウムを開催しませんか。

答 武道場や用具は充足済みで、国際教育と航空宇宙教育は研究を進めます

が、相撲等あとは考えていません。

問 美術彫刻の融合する庭園の設置とQRコードによる観光ガイドや街案内や災害時要援護者と高齢者・障がい者の避難支援情報等を設置し、音声ペンによる音声観光ガイドを設置して、ツイッターを活用した街づくりの研究を進めませんか。

答 庭園は市民要望で模索し、避難支援を除き検討研究します。

問 農地の市借上げ契約一括(宮田)方式を導入し、有機リン系農薬の空中散布の自粛中止を求めませんか。

また、横断歩道の位置を中央寄りにする等コンパクト化しませんか。

吉見 弘志 議員

西尾市・幡豆郡3町の合併について

問 合併に向けて、法定協議会で確認を行っています。またに市・町で合併に対する意識に温度差があるのではないですか。

答 昨年10月の住民意向調査では、市・町で多少の差があったものの、過半数の方のご理解を頂きました。その後の法定協議会では、住民の関心やご理解は高まっています。7月からの住民説

明会では、合併に対する意識や認識などが改めて判断できると考えています。

問 合併方法は、編入となっています。にもかかわらず、法定協議会では編入の色が見えてきません。再度、編入合併であるということ、どのように考えていますか。

答 合併の方式は編入ですが、される側の利益を抑え込むことでなく、編入合併であるからこそ、市と3町がお互いの立場を思いやって、協議していくことが肝要と思っています。

土地改良事業について

問 合併に対する住民投票請求署名の状況はどのようですか。

答 5月28日に提出された署名数は、2万1911人です。この署名は、審査完了前であり、有効署名数は確定しておりません。

問 現在行われている、ほ場整備事業の状況はどのようですか。

答 現在2地区で実施しています。一つは県営農村活性化住環境整備事業・福地中部地区96ヘクタール、組合員数は約290人、今年9月に完了予定となっています。もう一つは県営農村活性化住環境整備事業・深池地区30・5ヘクタール、組合員数は約60人、工期は平成21年から6年間を予定しています。

ます。

親子で楽しめる公園事業について

問 (仮称)親子で楽しめる公園の3つのゾーンについて、計画はどのようですか。

答 レクリエーションゾーンは河川敷で「食を通して育む親子のふれあい」を遊戯ゾーンは八ツ面山公園東側(通称女山)に「親子ふれあい遊びの丘」、3つ目は、四季を通じて親子で楽しめる公園をテーマとしました。森ゾーン、遊園地ゾーンなど親子で遊べるユニークな公園とします。



親子で楽しめる公園(鳥瞰図)
右:八ツ面山 中央部:道の駅「岡ノ山」

問 親子で楽しめる公園と「ふれあいの道」散策路の連携を考えませんか。

答 平成20年のワークショップで提案されています。いずれも小島町にあり、

既設施設の有効利用を図るためにも、連携できるよう検討します。

牧野 次郎 議員

幡豆郡3町との合併について

問 住民投票を求める直接請求署名で、市民からは「なぜ、今合併が必要か」と多く問われました。どのように思いますか。

答 合併による経費削減効果が、今大きく見込まれることが一番の要因と認識しています。財政悪化で各種事業が先送りの実態も踏まえ、合併によるスケールメリットの効果を早く発現し、事業の早期実現に努力します。

問 総務省が発表した「平成の合併」について、合併した自治体の住民は、否定的評価が上回っている中、「合併は一区切り」としています。どのように思いますか。

答 地域が広くなり不便との例はお聞きしていますが、この地域では失敗しなと思っています。

問 住民にとって合併による具体的メリットは何があるのか、とも問われました。具体的な考えを示してください。

答 経費削減を図って、住民の福祉サービスを下せず、堅実な行財政運

営が維持でき、企業誘致や産業、観光の活性化を図ることなどが、すべて市民のメリットであると認識しています。

問 市財政が逼迫しているときに、合併に26億円支出することは、市民にデメリットを及ぼすことになりませんか。

答 合併にかかる経費は将来への投資で、合併にかかる経費の支出が市民へのデメリットになるという認識はございません。

問 合併後、新市に新たな「行財政改革アクションプラン」を予定していることですが、合併前に示すべきではありませんか。

答 新市で、行政改革推進委員会を立ち上げて行政改革大綱を策定し、その上で目標数値及び目標年度を盛り込んだ、行財政改革アクションプランを策定したいと考えています。事業仕分けも新市で実施する計画ですが、合併前に実施する計画はありません。

問 今年度は市長を本部長とする「行財政改革推進本部」で保育利用料の引き上げを決定されたとのことですが、正に「行財政改革」の名で、子育てにかかる市民負担までも引き上げをするものではないですか。合併してからも「行革」と称して、市民負担をすすめるものではないですか。

答 保育園利用料の引き上げは、延長保育利用料の一部無料部分を有料化する

るもので、応分の負担をお願いするものです。合併とは関係なく行財政改革の一環として進めるものです。

問 合併の是非を住民投票で求める直接請求についてどのようにお考えですか。

答 合併は議会と我々が勝手に、進めているとは思っていません。手続きをとって進めているので、理解いただきたいと思えます。

問 市民の権利を認めないのですか。
答 合併が大事だと理解いただきたいと思えます。

牧野 勝子 議員

西尾市幡豆3町の合併について

問 昨年9月議会で「編入合併とはどのような合併か」質したところ、当局は「条例・規則は西尾市に合わせる」と答えています。しかし、現在進めている合併は、西尾市の条例に合わせる形にはなっていない。四首長は何故、編入合併を公約したのですか。
答 編入合併とは西尾市の制度に合わせることは考えていません。

問 民主党政権も、市町村の合併に関する法律を施行しました。今後10年間

合併に関する財政的支援は変わりません。来年3月までに合併しなければならぬ要因はないと考えますが、いかがですか。
答 行政改革の実行を先延ばしすることは、許されません。

問 市職員の退職者は、今後10年間を見通しても概算、年50人ほどですから急いで合併しなければならぬ要因はないと考えます。市長が合併を急ぐことで、民主主義の根幹が崩れていると思います。市長は、民主主義の基本とは何だと考えますか。
答 民主主義の基本とは、住民に選挙で選ばれた首長、また議会が、その場でいろいろなことを協議して進めていくことだと思っています。

問 舛添前厚生労働大臣も、国会討論で同様の発言をしていましたが、民主主義を尽くすことと思えます。市長は合併についてどれほど思いがあつたにしてもそれを十分に議員や市民に分かつていただくことなしに、期限が切られているのがこの合併です。
もう少し住民の声を聞いて、気持ちにゆとりを持って、かみ合った論議をしていきませんか。
答 7月から開催する説明会も一方的な説明に終わらず、皆さんの声を今後の協議の参考にしていきます。

問 勤労会館やふれあいセンター、小中学校の体育施設の有料化も合併の影響と利用者は懸念していますし、合併はそういうものと判断しています。
答 これらの有料化は行政サービスを受ける方と受けない方との公平性を確保するためです。

問 3月議会の予算審議の中で、本年度、不況に伴う雇用悪化に対応して、政府は自治体に対して臨時職員の採用を推進しています。当市では70人が採用され、7千800万円の人件費が支払われます。
当市では臨時の身分であつてはならない職員（勤続1年以上）が大勢いますが、そうした方も一挙に解雇されてしまいますか。
答 早く合併の効果を出すために、事務関係臨時職員の雇い止めを行う方向で検討しています。

6月3日 西尾小学校 6年生
114名が本会議を傍聴
児童からの感想の一部を掲載しました。

問 議会を見て、みんな西尾のため真けんで、すごくよかった。
問 議員さんの質問がうまく、いいと思えました。
問 名鉄西尾・蒲郡線の赤字額にびっくりしました。

問 1つの質問にたくさんの方が発言してました。この会議は西尾市のためにかかわることなので、がんばってやってほしいと思えました。
問 合併について、調べてみようと思えました。

問 はじめは、ちょっとむずかしすぎて頭がこんがらがっていました。だけど、公園事業はすごく良いなと思って、いっぱいメモしました。
問 めったにない体験をして、少しむずかしかったけど、勉強になったので、よかったです。

問 議会を見てとてもびっくりしました。よかったです。
問 議会ではいろんなことが考えられているんだなと思いました、これからも西尾のためにがんばってもらいたいです。
問 今日議会を見て、議員さんたちは僕たちの西尾市のためがんばってくれているんだなと思いました。

問 みんながしんけん、議会がはじまったら、なんだかこちらもみんなよかったです。
問 西尾のために、真けんになつてるのでうれしいです。
問 西尾にはいっぱい困っていることがあり、びっくりしました。でも議会がかいけつてきたらいいと、ここから思いました。

問 グリーン増計画で校庭のしばふ化をたくさん実行してほしいと思いました。



6月定例会で可決された議案

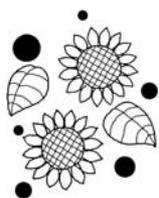
西尾市公平委員会委員に、鈴木昭夫氏を選任することに同意しました。



★西尾市職員の育児休業等に関する条例及び西尾市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	国家公務員の育児休業等に関する法律の一部を改正する法律が公布されたことに伴い、育児休業等の拡充を図るため、改正するものです。
★西尾市職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例の制定について	雇用保険法等の一部を改正する法律が公布、施行されたことに伴い、条文の整備を図るため、改正するものです。
★西尾市有料駐車場の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	福地駅東駐車場を設置するため、改正するものです。
★西尾市火災予防条例の一部を改正する条例の制定について	対象火気設備である燃料電池発電設備に固体酸化物型燃料電池を追加するため、改正するものです。
★市道路線の認定について	開発行為等により建設された道路を市道として管理するため4路線を認定するものです。
★訴えの提起について	市営住宅の明渡し請求について、訴えを提起するものです。
★財産の取得について	水槽付消防ポンプ自動車を更新整備し、消防力の向上及び消火活動に対応するものです。
★平成22年度6月補正予算	一般会計・国民健康保険特別会計・公共下水道事業特別会計を補正するものです。

6月定例会に出された請願書・陳情書

★私立高校生に対する授業料助成の堅持・拡充を求める陳情書	名古屋市熱田区沢下町8-4 愛知私学会館 愛知私学助成をすすめる会 会長 中川初枝 他2団体	趣旨採択
★選択的夫婦別姓制度の法制化に反対する陳情	春日井市中央台8-8-2 日本の子供の未来を・守る会 愛知支部 安藤 実知子	趣旨採択
★子ども手当の廃止を求める陳情	春日井市中央台8-8-2 日本の子供の未来を・守る会 愛知支部 安藤 実知子	不採択



日程は変更になる場合もありますので、傍聴の際は議会事務局まで問い合わせください。

* 本会議は議場
* 委員会は第一委員会室

開会時間は午前10時です。

28日(火)	本会議
14日(火)～16日(木)	決算特別委員会 委員会
10日(金)	市民病院改革特別委員会
9日(木)	企画総務委員会
8日(水)	経済建設委員会
7日(火)	厚生教育委員会
3日(金)	本会議
2日(木)	本会議
1日(水)	本会議

9月定例会市議会
開催予定のお知らせ

市民（18,947名）による直接請求がありました。

「西尾市と幡豆郡3町が平成23年3月を目標とする合併の賛否を問う住民投票条例」

（住民投票に関する条例の制定の請求を受理したので、意見を付して付議されたものです。）

が**7月臨時会**（会期7月14日から3日間）で**否決**！

市長から住民投票について、住民の意向も十分尊重しますが、現在議会等と協議しているところで、条例制定の必要はない旨の意見が付され提案、請求代表者3人からの意見陳述後に、質疑・討論が行われました。

条例制定に対する討論内容（抜粋）

（賛成討論） 地方自治法第74条に定められた直接請求権とは、市長や議員の思いと住民の思いが一致しない場合あるいは一致しているか否か、諮りかねる場合、住民の発議により市長や議会に直接請求することができるものです。今回の合併に関する直接請求では、市長や議員（一部議員を除く）が進めている期限付きで、合併ありきのやり方について、住民の投票によって決めてほしいという請求です。すでに1万8947筆の署名を添えて提出されています。これはこの請求に必要な1651筆の10倍以上の数です。市長も、議員も市民によって選ばれた者、選挙の時には「皆さんの代表、身を粉にして働きます。」と訴えて当選したのに、その市長や議員が多数の市民の思いを切り捨てるなど、あってはならないことです。

（反対討論） 今回の住民投票条例の設置は、短期間の時間制約にもかかわらず、多くの方々から直接請求されたもので、皆さんの熱意と努力を真摯に受けとるものです。しかしながら、直接請求は、市長の考え方や判断あるいは、議会の考えや判断が市民の考えや意見と異なる場合に直接請求ができるものであり、市民から合併に関する多数の要望があることや、4首長がすでに合併合意を示していることや、住民意向調査の結果で、合併賛成が59.5%に達したこと、そして、この合併の協議はすでに18年も前から進められていること、更には、今回の住民投票条例案の不備等を考え合わせて「西尾市と幡豆郡3町が平成23年3月を目標とする合併の賛否を問う住民投票条例」の制定には反対をするものであります。

（採決の結果）

条例制定に反対の議員 稲垣昌利、吉見弘志、中村眞一、長谷川敏廣、稲垣正明、小林敏秋、工藤光雄、中村行男、新家喜志男、田中 弘、山田慶勝、安藤好実、榊原康三 以上13人

条例制定に賛成の議員 鈴木 亨、高野邦良、神谷庄二、鈴木規子、大竹 忍、牧野次郎、広中利臣、筒井 登、牧野勝子、岡田隆司 以上10人

議会テレビ中継のお知らせ（予定）

放送日 9月2日（木）（9月1日一般質問）

9月7日（火）（9月2日一般質問）

ケーブルテレビ「キャッチ」16CH

（デジタル107CH）で放映

放送開始時間はいずれも18時からです。

インターネットで議会を見てみよう

西尾市議会ホームページからアクセスできます。

編集室

言葉は、心を表す扉です。

議会は、言葉で「義」という心を高めるところです。

議会は、市民の皆様の心を反映していますか。

そうであれば、幸いに思います。

議会を傍聴した小学生の声も載せることができました。

子どもは、西尾市の未来をリレーしてくれます。

日々、色々ありますが、未来もあります。

議会だより編集委員

◎ 中村 行男 ○ 稲垣 昌利 鈴木 亨

吉見 弘志 高野 邦良 長谷川敏廣

大竹 忍 牧野 勝子

西尾市議会

議会だより編集委員会

電話 56-2111

FAX 54-0311

■ホームページ (<http://gikai.city.nishio.aichi.jp/kaigiroku/>) で、本会議、委員会の会議録（質問者、回答者のすべての内容）が閲覧できます。